

# 第1回小児がん中央機関アドバイザリーボード

## 平成27年3月31日(火)

14:00-17:00

- 1) 小児がん中央機関の行うべき業務について  
1-6) 人材育成

国立成育医療研究センター

放射線診療部

野坂俊介

# 小児がん中央機関の役割

H24年9月7日（H26年2月5日最終改正）厚生労働省健康局長通知

- (1) 小児がんに関する相談支援の向上に関する体制整備を行うこと。  
また、小児がん患者・経験者の発達段階に応じた長期的な支援のあり方について検討すること。
- (2) 小児がんに関する情報を収集し、広く国民に提供すること。
- (3) 全国の小児がんに関する臨床試験の支援を行うこと。
- (4) 小児がん拠点病院等に対する診断、治療などの診療支援を行うこと。
- (5) 小児がん診療に携わる者の育成に関する国内の体制整備を行うこと。
- (6) 小児がんの登録の体制の整備を行うこと。
- (7) (1)から(6)の業務にあたっては、患者、家族及び外部有職者等による検討を踏まえて行うこと。

## 1-6) 人材育成

- 小児がん診療に携わる者の育成に関する国内の体制整備を行うこと
  - 放射線診断医のための小児がん画像診断研修プログラム
  - 病理医のための小児がん病理診断研修プログラム

# 1-6) 人材育成: その実際

- 原則3か月のプログラム
  - 派遣元機関の実情を考慮する短期間が望ましい
  - 期間は適宜調整可能
- 小児がん拠点病院への呼びかけ
- 病理診断研修プログラムで1名の実績
- 来年度, 放射線診断医は1名内定

# 放射線診断医のための小児がん 画像診断研修プログラム

	1か月目				2か月目				3か月目			
	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目
腫瘍系カンファレンス		脳腫瘍Conf		脳腫瘍Conf		脳腫瘍Conf		脳腫瘍Conf		脳腫瘍Conf		脳腫瘍Conf
		固形腫瘍Conf		固形腫瘍Conf		固形腫瘍Conf		固形腫瘍Conf		固形腫瘍Conf		固形腫瘍Conf
		参加		参加		参加		プレゼン		プレゼン		プレゼン
東邦大橋小児カンファレンス		参加				参加				腫瘍症例呈示		
腫瘍画像teaching file作成	固形腫瘍				中枢神経腫瘍				症例報告/論文作成			
JPLT中央読影委員会 JNBSG中央読影委員会	検討症例があれば適宜				検討症例があれば適宜				検討症例があれば適宜			
低悪性度グリオーマ前方視的観察研究(中澤班 Dr.清谷)												
腫瘍以外の小児放射線診断	夕方の読影レビュー参加(毎日PM16:00-)											
日常読影	腫瘍症例のCT/US/MRI/RI 検査施行、読影 レポート作成・発行											

# 病理医のための小児がん病理診断研修プログラム(案)

病理医のための小児がん病理診断研修プログラム(3ヶ月研修の場合)

	1か月目				2か月目				3か月目			
	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目
腫瘍系カンファレンス (参加・所見提示)		脳脊髄腫瘍 カンファレンス		脳脊髄腫瘍 カンファレンス		脳脊髄腫瘍 カンファレンス		脳脊髄腫瘍 カンファレンス		脳脊髄腫瘍 カンファレンス		脳脊髄腫瘍 カンファレンス
		固形腫瘍カン ファレンス		固形腫瘍カン ファレンス		固形腫瘍カン ファレンス		固形腫瘍カン ファレンス		固形腫瘍カン ファレンス		固形腫瘍カン ファレンス
	血液腫瘍 カンファレンス		血液腫瘍 カンファレンス		血液腫瘍 カンファレンス		血液腫瘍 カンファレンス		血液腫瘍 カンファレンス		血液腫瘍 カンファレンス	
中央病理診断 診断書作成	検討症例があれば適宜				検討症例があれば適宜				検討症例があれば適宜			
病理診断科内 カンファレンス	毎週金曜15時から											
日常診断 (腫瘍以外の 小児周産期病理)	切りだし、診断											

# 1-6) 人材育成: 問題点と対策

- 指導体制の構築
  - 指導者の育成
  - プログラムの策定
- 実際に中央機関に派遣することの困難性
  - 研修中の派遣元拠点病院の欠員への対応
  - 遠方からの派遣の場合の滞在場所の確保
- OJTとOff-JTを組み合わせる

## 1-6) 人材育成: 今後の検討事項

- 拠点病院における相談機能を強化するため、小児がん領域に対応できる相談員を育成する
- 系統的セミナー開催の企画等を通して、小児がんに関わる医師、看護師、ソーシャルワーカー及び臨床心理士等の育成を行う
- 拠点病院から送付された診断用検体のうち、あらかじめ同意が得られたものについて、アーカイブを設立して診断後の検体を保存し、画像や臨床データも併用し、教育・研修用の教材として活用する